

令和3年度座談会「町長と語ろうまちづくり」（共和地区）

開催日時	令和3年10月25日（月）午後6時から午後8時
場 所	共和トレーニングセンター
町民参加者	29人（40代以下 6人、50代 3人、60代以上 20人）
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、参事兼都市整備課長兼新東名対策室長、財務課長、総務防災課長、保険健康課長、農林課長、商工観光課長、事務局3人

出席者からの主な意見や提案

《テーマ：大野山ハイキングコース及びその周辺の道路等の環境整備について》

○地域のNPOで登山ガイドのようなものを始めようとしている。これまでは人が来て地域にお金が落ちないことが問題の1つだと思っているが、地域としても少しずつ課題を解決していこうという動きもある。次の3点についてお聞きしたい。

- ① 地蔵岩ハイキングコースについて、大野山から下りて階段を進んだ先で森の中に入るが、昨年大雨で橋が1か所崩落してしまい、現在はその内側に道ができて通れるようにはなっているが、全体的に道幅も狭くなっているところがあるので、ハイキング道の整備について何とかしてもらいたい。まずは登山客に対する注意喚起の看板など、何かしらの案内がされるとよいのではないかと。
- ② 山頂から神明社方面へ降りる道があるが、途中に「高杉方面」と書かれた道標がある。以前高杉神明社コースが整備されたという話を聞いたが、現在は草刈りもほとんどされてなく、どこが道かもわからないような状況である。大野山登山の中で神明社高杉コースの位置づけはどうなっているのか。
- ③ 8月4日に、町ホームページにおいて、「大野山登山客用の駐車場はございません」という案内が出されていた。登山客を案内することがあり、駐車場について聞かれた際はさくらの湯を案内したが、さくらの湯の駐車場には「登山客用の駐車場ではない」旨の表示はされていない、例えばさくらの湯の利用者用の駐車エリアはこの区域、登山客用の駐車エリアはこの区域としておくというのはどうか。個人的には、登山客などからは駐車料金を取ってもいいと思っているので、そういった取り組みもしていただけたらと思う。

○共和地区へ移住し、自然が豊かだと思っているが、地元の方から「山が崩れて危ない」などという話を聞いた。大規模な工事をしなくても、人の力で環境を改善することは可能ではないかと思う。少しでも水を浸透させやすくするといった対策は考えられる。また、ヤマビルも増えてしまっており、それには環境的な要因もあると思う。森林環境譲与税もあることから、自然循環型のような対応をしてもらえたらと思う。

- この数年、非常にハイカーが多く、「道は大丈夫か」と聞かれることが多々あるので、道の入り口に迂回の情報などを周知できたらよいのではないか。私は、近くを通る人にはすべて声をかけるようにしており、気遣いができるような案内が大切であると思う。
- 最近雨の降り方が激しく、昨年ハイキングコース内の橋が壊れてしまった。町で新しい橋を建て替えるまでの間、通行止めにしたほうがいい。通行止めの情報などがあれば、その都度地元にも情報提供をいただきたい。また、一昨年、日本山岳会の方より、舗装道路を歩かないようなルートはないかと相談を受け、吾妻山のルートについて町にも提案したが、その後どうなっているのか。
- ハイキングコース上に谷峨のつり橋があるが、メンテナンスはどうなのか。また、色を塗るようなことがあれば、ハイカーが記念写真をとれるような変わったデザイン、色にしたらどうか。
- 地蔵岩コースについては、昨今の雨の強さや、大きな整備がされていないこともあって、地蔵岩から上がって300メートルくらいのところでは道が掘れてしまっている。そのため、足を痛めて降りてくる人がだいぶ多い。また、道標がはっきりしていないところがあり、道が変わっているところもあることから、道標ははっきりと迷わないようなものを設置してもらいたい。また、地蔵岩コースの階段以外のところは整備があまりされていない。そのため、ハイキングコースそのものが狭くなっており、土砂が流れて道が斜めになっていることからすべりやすくなっている。子ども連れのハイカーも多く、万一すべってしまうと、沢に向かって落ちてしまうことになる。薫る野牧場の方へ向かうタケ山にも道があったので、その部分だけでも付け替えれば安全ではないか。

《テーマ：ヤマビル対策について》

- ヤマビルや鳥獣被害に非常に困っている。特にヤマビルの被害が多い。2年前は三保地域が主な生息区域だったが、あっという間に共和地区にも広がった。被害も多く、数を減らさないと農業をする人も減ってしまう。地域でもできることはやろうと草刈りを実施したり、薬剤を散布したりしているが、やはり自治体が取り組むことが大切である。また、大野山の閉鎖された牧場跡地の県有地にもヒルがいるため、野焼きをするなどの話を町からもしてもらいたい。対応の1つとして、ハイキングコースの入口にヒルに対する看板を設置するとともに、塩や食塩水を置いて、ハイカーがヒルを見つけたら駆除できるようにするというのも大事だと思う。できることからまずやっていったらどうか。山北町が対策を強化することでヒルが減り、その対応を他の町が視察に来るようになれば良いと思う。

《テーマ：その他》

- 丹沢湖駐車場のトイレが汚く、においがひどい。掃除した跡は見受けられるが、完全に汚れが取れていない。トイレは町のものだと思うが、対応はどうなっているのか。木が

覆いかぶさってしまい、ライトが隠れて危ない防犯灯がある。

○間伐や森林ボランティア、ヤマビル対策について、どのような視点で取り組んでいるのか。自然を損なわないやり方が大事だと考える。都市部とも連携しながら森林環境譲与税を活用した政策や、地域の人たちと一緒に山づくりをしていくような人材育成を進めていく考えはあるか。

○都夫良野の火葬場跡地利用について、今年に入りグランピング事業者の話があったが、その後進んでいるのか。

○今回の衆議院選挙において、移動の手段がないため行かないと言っている人がいる。共和は福祉バスを使えるが、ほかの地区などでは投票箱を持った車が回るといったことも進めてもらいたい。

○向原保育園の建て替えの話を聞いたが、子どもが増えるより、介護が必要なお年寄りが増えることが予想されている。建て替えるときに、保育園と介護施設の両方を兼ね備えた複合施設の建設も考えてほしい。

○自然再生可能エネルギーを活用した電力などを検討してほしい。町全体は難しいと思うので、一部からでも始めればよいと思う。理由として、

- ① 一部でもできれば町の魅力になる。
- ② 森林の間伐材を使うことで環境維持にもつながる。
- ③ 新たな環境を作ることで子どもたちへの贈り物になる。
- ④ 災害の際のライフラインの確保につながる。
- ⑤ これらを進めることで町の活性化につながる。

山北の一部でもよいからこのようなことを進める政策を取り入れてもらいたい。

○丸山にクマが目撃されたとの情報が入った。町はクマに対してどのような対応を考えているのか。目撃されたのが、山北の中心でもあるため、緊急の問題である。早急に対応していかなければならない。